

人工ぼうこう装具など保管

相模原市は9日、人工ぼうこうや人工肛門の人たちが地震などの災害時に装具を持ち出せなかった場合に備え、市内の福祉施設5か所で、装具を無料で保管するサービスを4月から始めると発表した。

相模原市内5か所 災害発生時に備え

害や事故に備え、知人や親類などに頼んで自宅以外の場所に予備の装具を置いておく場合が多い。しかし、保管場所を確保できない人もいるため、市は装具使用者で作る「日本オストミー協会相模原支部」と話し合い、災害時要援護者対策の一環として、市の施設で預かることにした。

保管場所は、療育センター、陽光園、障害者支援センター、松が丘園、上九沢デイサービスセンター、津久井保健センター、南保健福祉センター。この5か所から希望者は保管場所を選ぶ。

装具使用者は市内で約720人で、市ではこのうち20%程度の希望者があるとみている。装具の保管サービスは、横須賀、大和、座間、藤沢、平塚各市でも実施している。